

小竹だより

練馬区立小竹小学校

校長 佐藤 正文



令和 4 年 1 1 月 号
No. 5 9 5



[体育発表会]

10月1日(土)秋晴れの下、体育発表会(保護者鑑賞日)を実施しました。各学年の表現運動とカー杯走る姿を参観していただきました。子供たちは体を動かすことを楽しみました。

10月15日(土)は、本校体育館にて小竹町会主催の「第28回小竹の森音楽祭」が、3年ぶりに開催されました。事前の準備では、PTAの方々がご尽力され、計画的に運営を推進していました。小竹小学校の児童、教職員も会場づくりをお手伝いしました。特に6年生が、張り出し用の躰壇やパイプ椅子等々、力を合わせて運び、準備をしてくれました。

今回の出演は、武蔵野音楽大学、日本大学芸術学部、そして本校5年生児童及び吹奏楽部のメンバーです。この舞台発表に向けて練習を積み重ね、すばらしいハーモニーを会場に響かせました。大きな拍手が開催できた嬉しさを表現していたと感じました。

さて、「小竹小ミニマム10のルール」1番目は「あいさつをすすんでしよう」です。

子供たちの「あいさつ」はいろいろです。

- ・先にあいさつ・立ち止まってあいさつ・できるようになったあいさつ・後ろからあいさつ・遠くからあいさつ・3人声を合わせてあいさつ
- ・目を合わせてあいさつ・戻ってきてあいさつ
- ・笑顔であいさつ・手を振ってあいさつ……。

あいさつを含め「ことば」は、相手を大切にしたいコミュニケーションがあってこそ、正しい思いやりの「ことば」となり伝わります。

素敵な詩を発見しました。紹介します。

相手を思う“あいさつ”

校長 佐藤 正文

美しいことば 小暮 成美

「おはよう」
「おはようございます」
あさもやの中から
すんだはりのある声がひびく
人の心にきょう一日の
あかるい灯をともしことば
一日はこのことばからはじまる

「はい」
さわやかな音感の心よさ
母なる国のことばのなかで
最高に光り輝くことば

「ありがとう」
「すみません」
「ごくろうさま」
豊かな心 広い心 温かい心 素直な心
わきでるこのひとことが
貧しい心を豊かにし 病める心をいやし
閉じた心をあけはなつ

「おやすみなさい」
「さようなら」
家路をいそぐ 夕暮れの街かどで
一日の学業を終え
一日の仕事を終えて
かわされる温かいねぎらいのことば
一日はこのことばで終わる

ふるさとの心うすれ
ひからびて とげとげしい世の中に
このことばのなんと美しいことよ

学芸会の発表に向けて、各学年が取り組み始めています。ひとつの劇を協力して創り上げていく楽しさを経験できるよう努めて参ります。ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。

1 1月行事予定

1(火) ふれあい月間始 たてわり班活動	22(火) クリーン運動②
2(水) 校内研究 研究授業(5年2組) 授業のクラス以外は4時間授業	25(金) 学芸会(児童鑑賞日)
7(月) クラブ活動	26(土) 学芸会(保護者鑑賞日) 給食あり 5時間授業
10(木) 就学時健康診断(下校13:00)	28(月) 振替休業日
12(土) 避難訓練 防災教室	29(火) クリーン運動③
18(金) クリーン運動①	30(水) 教育会全体研究会(午前授業) ふれあい月間終

体育発表会の感想 9月30日、10月1日、秋晴れの良い天気の下、体育発表会が行われました。

- 1年生**
- ・じょうずに踊ることができてうれしかったです。来年は、50メートル走の記録を伸ばしたいです。
 - ・友だちをしっかり応援することができました。緊張したけれど、元気いっぱい踊ることができました。
 - ・家族が見てくれて嬉しかったです。応援も最後までできました。また、来年が楽しみです。
- 2年生**
- ・笑顔で大きく表現しながら踊るのをがんばりました。みんなに見てもらえて嬉しかったです。
 - ・音楽に合わせて移動しながら、風に乗って羽ばたいているように踊るのをがんばりました。
 - ・50メートル走では、思いっきり手を振って走るのをがんばりました。速く走ることができました。
- 3年生**
- ・先生の話をよく聞いて、練習を頑張りました。見ている人に「すごい。」と思ってもらえるように、細かい部分もきちんと覚えめました。本番は、友達と力を合わせてできました。これからの生活でも、恥ずかしがらずに諦めないで自信をもって何でもやり遂げたいです。
 - ・ダンスでは、体を大きく動かしながら、最後まで全力を出すことを目標にしました。本番では、大きく手のひらまで動かして、踊りをみんなでぴったりそろえることができました。これからの生活でも、心を一つにして学芸会や普段の生活をがんばっていきたいです。
- 4年生**
- ・初めは、難しそうな踊りで出来ないと思っていたけれど、練習するにつれてだんだんできるようになりました。難しいと思うことでも挑戦するということを学びました。本番は、楽しく笑顔で踊れてよかったです。
 - ・「目線」、「腰を落とす」、「扇子を落とさない」という目標をもって、取り組みました。本番では、目標通り、しっかり踊ることができました。一人一人が集中し、学年として素敵な踊りができたと思います。これからも、みんなで協力しあって、最高のものに仕上げていきたいと思います。
- 5年生**
- ・南中ソーランでは、本番5日前に腰が落ちるようになりました。「今までやってきたからかな」とうれしくなりました。私の中ではこんなに一体感のあるパフォーマンスをしたことがなかったので、楽しかったし成長した感じがします。
 - ・短距離走では、気が付くともう走り終わっていました。一度も転ぶことなく走れました。ゴールをしたのは最後だったけれども、やり切った感があるので、うれしかったです。
- 6年生**
- ・演技を通して、人と協力することの大切さを学びました。徒競走で負けたことはすごく悔しかったから、それほど本気だったことが改めて分かりました。これからも、何事にも本気で挑戦したいです。
 - ・集団行動で縦、横をそろえ、音楽にも合わせられるように頑張りました。当日は堂々とできたことが心に残りました。これからも、個人で努力できることは完璧にして、みんなでそろえることを意識したいです。